

ERDBとシステム連携

運用の具体的なイメージを見てみよう

佛教大学図書館 専門員

飯野勝則 (iino@bukkyo-u.ac.jp)

図書館総合展フォーラム ERDBは何を変えるのか

2013年10月30日 於パシフィコ横浜

はじめに

ERDBのポイント

- ERDBを用いると自館の電子ジャーナルの購読「状況」(※1)や自館・所属機関のオープンアクセスジャーナル等の電子出版状況を他館と共有(※2)できる
- ERDBを用いると自館で購読できる電子ジャーナルのURLがわかる
- ERDBを用いると他館で購読している電子ジャーナルの「状況」がわかる
- ERDBはリンクリゾルバと同じものではない
- ERDBはERMS（電子資源管理情報システム）と同じものではない
- 管理の際には、ILS（図書館システム）等外部のシステムとAPI(※3)を用いて連携することが前提
- 一言でいえば「**NACSIS-CATの電子リソース版**」

※1 購読館、購読できる年代、ILLや閲覧の提供ポリシー等

※2 ただし契約情報の集約、共有可能な内容、共有方法、セキュリティなどは今後の課題

※3 システムの外から、データを検索したり、修正、交換したりする仕組み

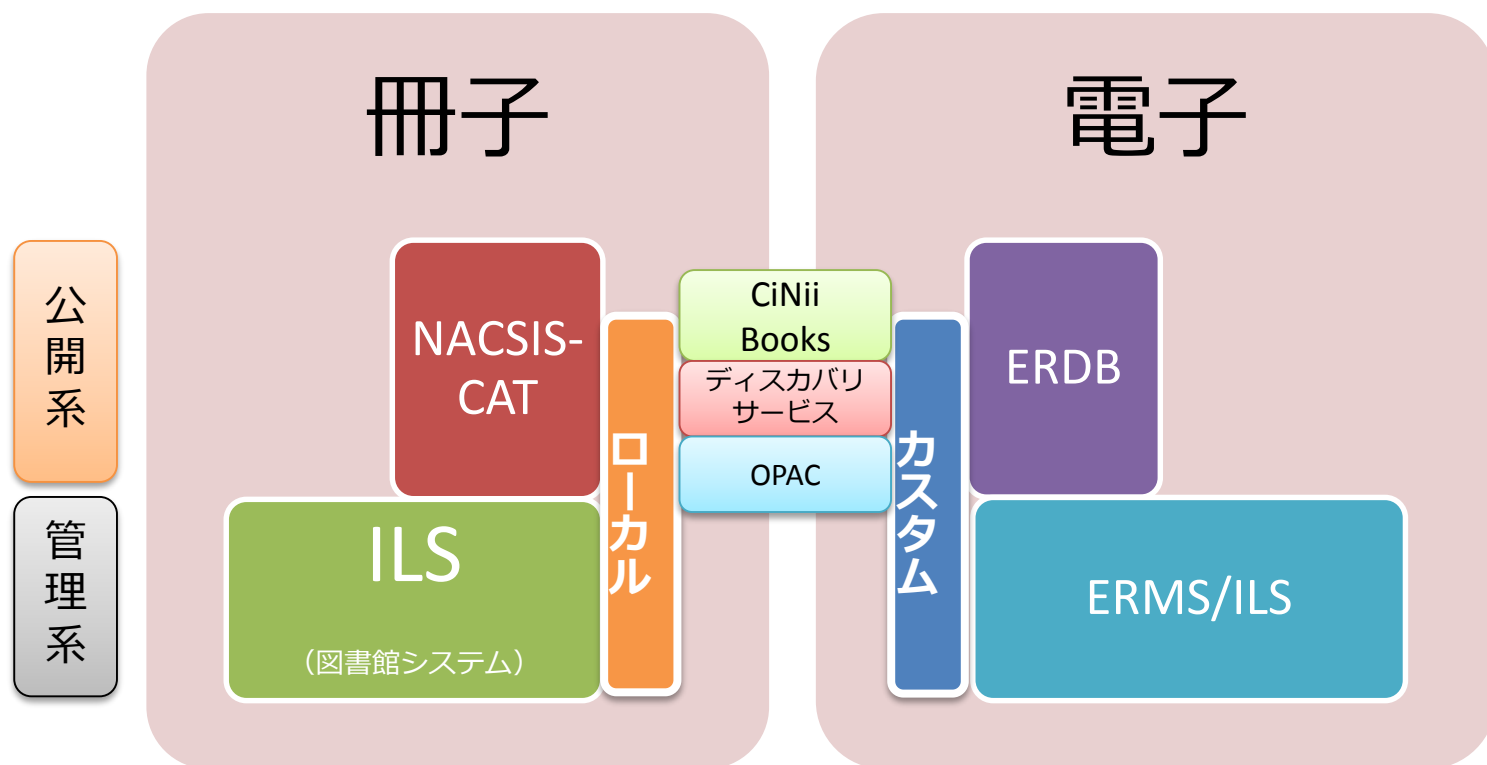
リンクリゾルバとの相違点

- ERDBを用いる場合、電子リソースに対するURLの形成はAPIを通して行う
- OpenURLとは異なるクエリ（問い合わせ式）
- ERDBはナレッジベース（電子リソースの目録）であり、利用者向けのインターフェース（中間窓など）はない
- ナレッジベースの登録内容はJUSTICE参加出版社のパッケージおよび日本国内の電子リソースが中心となる（予定）
- 電子リソースについては、リンクリゾルバの場合、自館の購読状況しか把握できないが、ERDBは他館の購読状況が把握できる



ERDBとシステム概念図

ILS, ERMS, NACISIS-CAT等との関係

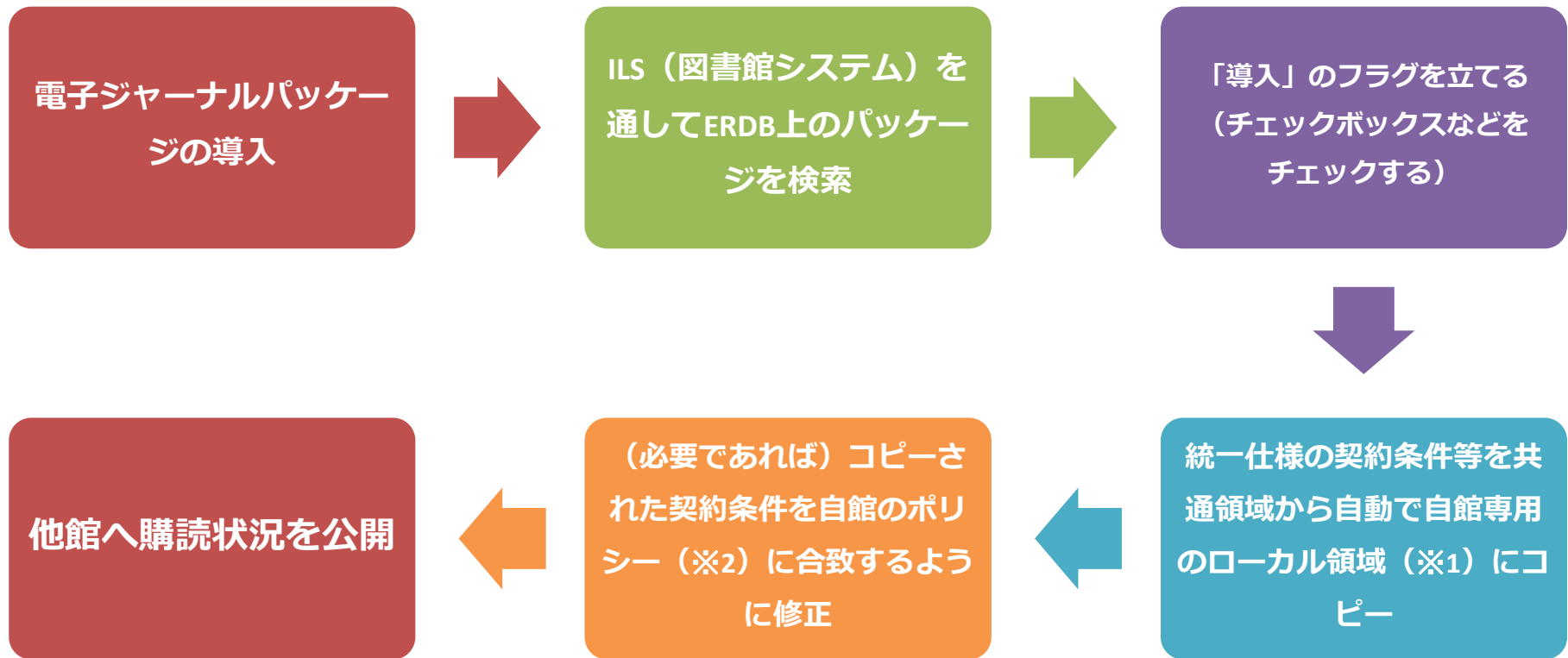


ERDBはWalk-in User、ILL印刷、ILL電子送信（Secure or email）ほかのライセンスに関する簡易的な可否管理が可能だが、ERDBはERMSのデータの一部を扱うのみ

図書館業務から見るERDB データの作成・登録

図書館で行うこと

(①電子ジャーナルを導入・受入する場合)



※1「カスタム」と呼ぶ部分

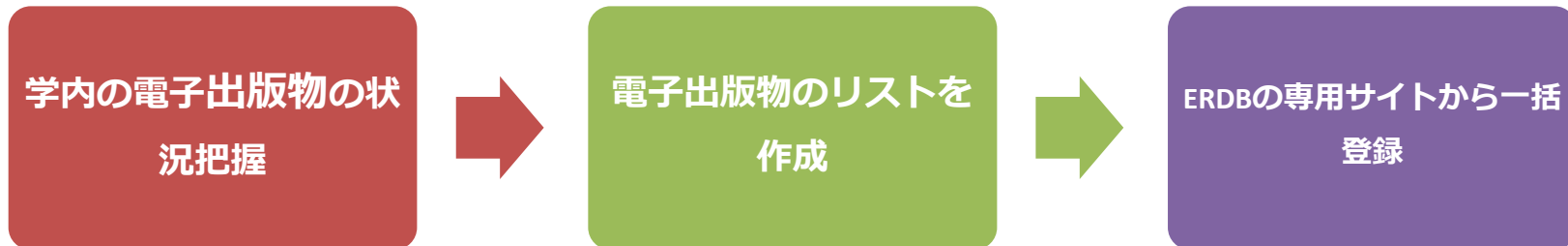
※2 学外者の利用ができるか（Walk-in User）、ILLを受け付けるか etc.

現行のNACISIS-CATとILSの関係とほぼ同じ運用方法となるイメージ

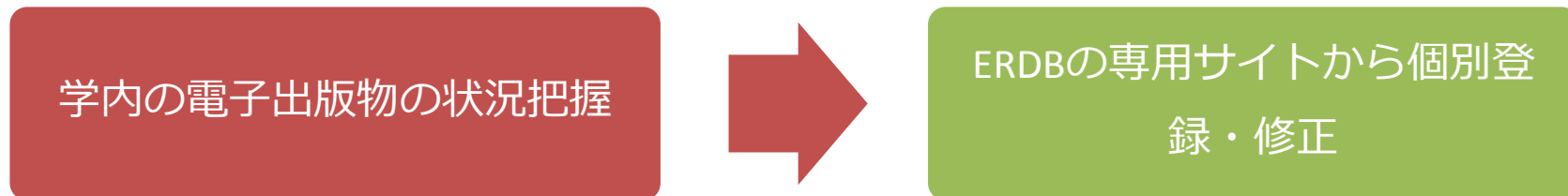
図書館で行うこと

(②学内の電子出版物を登録する場合)

導入当初 (イニシャルワーク)



随時行う業務 (ルーティンワーク)



- ・ ERDBの導入当初に学内の電子出版物 (ex. 紀要やオープンジャーナル等) のリストを一括登録し、その後はメンテナンスするイメージ
- ・ 登録したデータは他の商用・非商用ナレッジベースに連携することで世界中に流通

電子出版物の登録イメージ（１）



ERDBが用意する専用サイトにアクセスし、ログインすると電子出版物を登録するための「タブ」が出現

電子出版物の登録イメージ（２）

ERDB JP

国内電子コンテンツのうち、パッケージ(J-STAGE、NII ELS、Medical*Online、...)に含まれない個別タイトルリストを共同作成します。

ホーム 一覧／エクスポート マイコンテンツ 新規登録 一括登録

ホーム

一括登録

プロバイダー／パッケージ名

-なし-

参照... ファイルが選択されていません。

アップロード

publication_title	print_identifier	online_identifier	date_first_issue_online
京都語文	1342-4254	2009 16	http://
佛教大学総合研究所紀要	1340-5942	2009 16	http://
文学部論集	0918-9416	1995 79	http://
社会学部論集	0918-9424	1995 28	http://
佛教大学総合研究所紀要別冊	1340-5942	2008 2008	
保健医療技術学部論集	1881-3259	2007 1	
社会福祉学部論集	1349-3922	2005 1	
佛教大学大学院紀要	1344-2422	1995 23	
歴史学部論集	2185-4203	2011 1	http://
中国言語文化研究	1346-6305	2009 9	
佛教大学大学院紀要、教育学研究科篇	1883-3993	2009 37	
英文学部論集	2011 18		http://archives
仏教学部論集	2185-419X	2011 95	http://
佛教大学大学院紀要、社会福祉学研究科篇	1883-4019	2009 37	
鷹陵史学	0386-331X	2010 36	http://
佛教大学アジア宗教文化情報研究所研究紀要	1349-8444	2005 1	
佛教大学大学院紀要、社会学研究科篇	1883-4000	2009 37	
教育学部論集	0916-3875	1995 6	http://
佛教大学教育学部学会紀要	1347-4782	2010 9	
佛教大学大学院紀要、文学研究科篇	1883-3985	2009 37	
教職支援センター紀要	2185-1212	2012 3	
佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	1349-8444	2009 5	

「一括登録」からは、KBARTフォーマットに準拠したTSVファイルを一括登録できる

電子出版物の登録イメージ（3）

ERDB JP アカウント情報 ログアウト

国内電子コンテンツのうち、パッケージ(J-STAGE、NII ELS、Medical*Online...)に含まれない個別タイトルリストを共同作成します。

ホーム 一覧／エクスポート マイコンテンツ 新規登録 一括登録

ホーム » コンテンツの追加

Add an E-Content

投稿画面

プロバイダー／パッケージ名
- なし -

出力ファイルを分けるために使用。

状態
- なし -

言語 *
jpn

ISO639-2(http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/code_list.php)

アクセスモデル *
☐ OA
☐ F

資料種別 *
☒ Serial

ホーム 一覧／エクスポート マイコンテンツ 新規登録 一括登録

ホーム » 英文学論集

[Edit] 英文学論集

ビュー 編集

プロバイダー／パッケージ名
-Bukkyo University

出力ファイルを分けるために使用。

状態
Active

言語 *
jpn

ISO639-2(http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/code_list.php)

アクセスモデル *
☒ OA
☐ F

資料種別 *
☒ Serial
☐ Monograph

- ・「新規登録」からは、コンテンツごとの登録が可能
- ・「マイコンテンツ」からは、それぞれのコンテンツの編集ができる

登録データの流通



Freely Accessible Journals (test)
として連携を試行中

- ・ 英国のKnowledge Base+(KB+)や米国GOKb（ゴーケービー）というような海外の非商用or商用ナレッジベースとの間でデータ流通を模索
- ・ 日本国内のオープンジャーナルなどの情報が世界に行き渡ること、日本の学術情報の有意性を広く担保できる

図書館業務から見るERDB データの利用

ILLとの連携（１）

>> 業務選択 > 簡略一覧 > 依頼詳細

ローカル保存 SAVE LOCAL 保存 SAVE 依頼 ORDER 取り消し CANCEL 印刷 メール送信 依頼票 クリア

申込番号:<0000028795>Web依頼 新規 (選択してください) 依頼館略称: 佛教大 / 依頼館コード: FA007717

依頼情報 申込者情報

支払区分 私費 複写種別 送付方法 電子送信(Secure)

依頼番号 徴収猶予許可番号

書誌ID AN0002242 NII ローカル ISSN ERDB

書誌事項 ○○大学情報学部紀要

標準番号

巻号 20号

論文関係事項 ERDBとディスカバリー

所蔵館コード

依頼先1

依頼先2

依頼先3

依頼先4

依頼先5

書誌典拠

申込者氏名 飯野勝則 申込者所属 佛教大学 依頼日 20130924

コメント履歴

印刷

<AN0002242> ○○大学情報学部紀要

書誌詳細 自館所蔵一覧(0件) 所蔵検索

検索 クリア 検索条件を閉じる ☒ 所蔵館の詳細情報を表示する

参加組織ID: 所蔵巻号: 20 所蔵年次: 2012

配置コード: 地域コード: 受入継続表示:

設置者種別: 1 国立 機関種別: 1 大学 料金相殺グループ:

2 公立 2 短期大学

3 私立 3 高等専門学校

ILL参加種別: サービスステータス:

複写サービス種別: A 受け付ける 貸借サービス種別: A 受け付ける 電子送信(Secure)サービス種別: A サービス可

C 他の窓口で受け付ける C 他の窓口で受け付ける C 条件付でサービス可

N 受け付けない N 受け付けない N サービス不可

従来からの書誌IDによるNACSIS-CATでの冊子所蔵先の検索に加え、電子送信(Secure)が可能な電子リソースの所蔵先を検索するといったことも可能に

ILLとの連携（2）

>> 業務選択 > 簡略一覧 > 依頼詳細

ローカル保存 SAVE LOCAL 保存 SAVE 依頼 ORDER 取り消し CANCEL 印刷 メール送信 依頼票 クリア

申込番号:<0000028795>Web依頼 新規 (選択してください) 依頼館略称:佛教大 / 依頼館コード:FA007717

依頼情報 申込者情報

支払区分 私費 複写種別 送付方法 電子送信(Secure)

依頼番号 徴収猶予許可番号

書誌ID NII ローカル **ISSN 1234-56XX** ERDB

書誌事項
〇〇大学情報学部紀要

標準番号

巻号 20号 ページ 不明 年次 2012年

論文関係事項
ERDBとディスカバリーサービス

	所蔵館コード	所蔵館略称	LOC	VOL	CLN	RGTN	HMLISO
依頼先1							
依頼先2							
依頼先3							
依頼先4							
依頼先5							

書誌典拠 所蔵典拠

申込者氏名 飯野勝則 申込者所属 佛教大学 依頼日 20130924

コメント履歴

書誌IDでヒットしなかった場合には、ISSNを用いての検索も可能

図書館業務へのインパクト

- ERM業務（電子資源管理業務）の標準化： NACSIS-CATが目録業務を標準化したように
- 他館の電子リソースの状況を簡単に把握できることで、利用者からの和雑誌購読状況の問い合わせにも即時対応
- 寄贈担当者が受入や保存を悩む場合に、電子化状況を調べることで判断にかかる時間が短縮
- 電子リソースの複写依頼を受ける際も、ライセンスなどの情報が共有化されることで、効率的な運用が可能
- 全国レベルのみならず、地域レベルでの電子リソースの購読状況が把握できることで、電子的な「分担購読」も可能？

利用者から見るERDB

CiNii Booksとの連携

The image shows two overlapping web browser windows. The background window is the CiNii Books homepage, which has a dark header with the CiNii logo and navigation links. A search bar is visible with the text '図書・雑誌検索' and '著者検索'. Below the search bar, there's a section for '消費者行動研究' (Advances in consumer studies) with a red box highlighting the journal's details: '消費者行動研究 (1993-2009)', 'e-ISSN: 1883-9576', and '(無料閲覧 #3851 by JST/J-Stage)'. A red arrow points from this box to the foreground window. The foreground window is the J-STAGE website, displaying the journal '消費者行動研究 Vol. 15(2009) No. 1_2'. It lists several articles with their titles, authors, and publication dates. On the right side of the J-STAGE window, there's a sidebar with 'ジャーナルツール' (Journal Tools) and 'この資料を共有' (Share this material) options. At the bottom of the J-STAGE window, there's a section for '出版国コード' (Country Code) and '標準言語コード' (Standard Language Code), both set to 'ja' and 'jpn' respectively. The '本文言語コード' (Full Text Language Code) is also 'jpn', and the '出版地' (Place of Publication) is '西宮' (Nishinomiya).

CiNii Booksの検索結果から、電子ジャーナルへのダイレクトリンクの形成

ディスカバリサービスとの連携 (1)

BUDDYO UNIVERSITY LIBRARY お気軽検索

情報の科学と技術 検索

Clear Filters

並び込み

- ✓ すべて
- 本文あり
- Scholarly & Peer-Review
- Library Catalog

フォーマット

- すべて
- 雑誌論文
- 図書 / 電子書籍
- 会議録
- 学位論文
- ✓ 雑誌 / 電子ジャーナル
- More...

発行年月日

適合度 順による結果5件

オンライン 情報の科学と技術 = The journal of Information Science and Technology Association

: 情報科学技術協会

情報の科学と技術 = The journal of Information Science and Technology Association, 1987

- 雑誌: 禁帯出, P-007||47||37:1, D層(地下2階閉架) (+71 その他)
- 雑誌: 他大学所蔵 / 電子リソース

オンライン ドキュメンテーション研究

: 日本ドキュメンテーション協会, 情報科学技術協会

ドキュメンテーション研究, 1958

- 雑誌: 禁帯出, P-007||47||31:1, D層(地下2階閉架) (+11 その他)
- 雑誌: 他大学所蔵 / 電子リソース

アジア・太平洋地域の科学技術情報ドキュメント・サプライのパイロット・プロジェクト——オーストラリア国

: 中野捷三

カレントアウェアネス, 06/1990

- 雑誌: 他大学所蔵 / 電子リソース

自館の所蔵とともにAPIを利用して外部所蔵へ導くリンクを形成

ディスカバリサービスとの連携 (2)

The screenshot shows the Bukkyo University Library website. On the left is a sidebar with filters like 'Clear Filters', '並び込み' (Sort), and 'フォーマット' (Format). The main area displays search results for '情報の科学と技術' (Information Science and Technology). A red box highlights the '雑誌: 禁帯出, P-ISSN: 1345-0755' entry. Below this, a red box highlights the '電子リソース' (Electronic Resources) section, which lists 'undefined/ 社団法人情報科学技術協会' (The Japan Society for Information Science and Technology) and '無料 1987 - 2012 / NII/NII-ELS' (Free 1987 - 2012 / NII/NII-ELS). To the right of the search results, a modal window titled '他大学図書館の所蔵' (Collection of Other University Libraries) is open. It contains a yellow warning box: '注意 他大学図書館の利用に関しましては、参考調査までお問い合わせください。' (Note: Regarding the use of other university libraries, please contact us for a reference survey). Below this, a list of libraries is shown, each with a 'Q OPAC' button and a '利用方法' (Usage Method) button. The libraries listed are: 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター, 広島大学 図書館 中央図書館, 明治学院大学 図書館, 日本大学 薬学部図書館, 実践女子大学 図書館, and 沖縄国際大学 図書館. A red box highlights the '電子リソース' section in the main content area.

他大学図書館の所蔵

注意 他大学図書館の利用に関しましては、参考調査までお問い合わせください。

農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター Q OPAC 利用方法

広島大学 図書館 中央図書館 Q OPAC 利用方法

明治学院大学 図書館 Q OPAC 利用方法

日本大学 薬学部図書館 Q OPAC 利用方法

実践女子大学 図書館 Q OPAC 利用方法

沖縄国際大学 図書館 利用方法

電子リソース

undefined/ 社団法人情報科学技術協会

無料 1987 - 2012 / NII/NII-ELS

CiNii Books API

ERDB API

ERDBを利用して、電子リソースへのリンクを構成。購読条件など「状況」も付加

一步進むと

CiNii Books API

ERDB API

近隣の大学に
絞って表示

他大学図書館の冊子所蔵

注意 他大学図書館の利用に関しましては、参考調査までお問い合わせください。

ABC市立大学 総合情報センター	Q OPAC	利用方法
DEC大学 本部キャンパス図書館	Q OPAC	利用方法

他大学図書館の電子リソース契約状況

注意 他大学図書館の利用に関しましては、参考調査までお問い合わせください。

あいいうえ大学 図書館	1995 - present	利用方法
かきくけ女子大学 図書館	1995 - 2001	利用方法
さしすせ学園大学 文学部附属図書館	1995 - present	利用方法
たちつて大学 図書館	1995 - present	利用方法
なにぬね学院大学 附属図書館	1980 - 2001	利用方法
はひふへ大学 図書館	1995 - present	利用方法

電子リソース

本学で利用できる電子リソースは見つかりませんでした。

ILL申込

Walk-in Userの利用可否、
その他の利用条件を参照

ILLの提供可という条件が
ある所蔵館があった場合
申込画面を表示

ERDBを利用して、電子リソースの自館での契約（購読）の有無のほか、他大学における契約状況を表示。近隣の大学に絞り込んでの表示も

リンクリゾルバとの連携（１）

雑誌検索 Citation Linker PMID・DOI

Share |    

 論文情報  論文情報を変更する

 論文タイトル 横光利一『旅愁』における国学言説の射影：言挙・産霊・古神道をめぐって

 雑誌タイトル 京都語文

ISSN: 1342-4254 発行年月日 2009/11

巻/Volume 16

抄録 横光利一の長編小説『旅愁』はこれまで、戦時下の思潮に沿う＜日本主義＞を基調とした小説として読まれてきた。確かに同時時代の国粹的な言論と、作中における矢代、東野らの発言との間には互いに通じ合うところが多い。従来の研究も、その両者のつながりに着目してきた。しかし、それらの非合理的な言葉の散々は、近世国学思想に淵源を持つ、対話を志向しない諸言説にこそその＜根拠＞を見出すことができるのではないのか。この小説に描かれた＜言挙＞、＜産霊＞、＜古神道＞のありようについて考察すると、いずれも国学者たちによる、他者からの異議に価値を認めない、独断的な見解をふまえて、それに支えられていることがわかる。『旅愁』の＜日本主義＞は、そうした揺るぎない特権意識に浸る国学言説の受容と変形を経て形作られたのである。

フルテキスト情報 ※「リンク」が表示されても目次情報のみ場合があります

 所蔵期間	 リンク	 リソース
1996 - present	雑誌	 佛教大学図書館
1996 - 2011	雑誌	 佛教大学図書館
2009 - present	雑誌	Freely Accessible Japanese Titles

論文 雑誌  CiNii

ERDB登録データ

日本国内のオープンジャーナルなど電子出版物の存在が網羅的に収集されることで、リンクリゾルバの精度向上等を期待

リンクリゾルバとの連携（２）

The screenshot displays a library search interface. On the left, a sidebar shows search criteria: 論文 (Article), 著者 (Author: 秀世, 大), ジャーナル (Journal: Kôgaku), ISSN (0389-6), and 巻 (Volume: 35). The main area shows a message: "お探しのジャーナルは見つかりません。このジャーナルを探すために..." (The journal you are looking for is not found. To find this journal...). A pop-up window titled "他大学の電子リソース契約状況" (Electronic Resource Agreement Status of Other Universities) is overlaid on the right. It contains the text: "他大学図書館の利用にしましては、参考調査までお問い合わせください。" (For use at other university libraries, please contact us for a reference survey). Below this, a table lists the agreement status for various libraries:

Library	Agreement Status
あいり大学 付属図書館 本部図書館	2001 - present
かきく工業大学 情報センター	2004 - 2009
さいす技術大学 総合メディアセンター	2005 - present

Below the pop-up, another section titled "他大学の所蔵(所蔵期間は各大学OPACで確認して下さい)" (Other University Holdings (Please check the holding period at each university's OPAC)) lists holdings for 長岡技術科学大学 附属図書館 (OPAC) and 日本大学 理工学部図書館 (駿河台). A second, identical pop-up window is shown below this section.

CiNii Books API

ERDB API

自館で購読できるリソースがない場合、ディスカバリとの連携同様、他館の冊子所蔵に加え、電子リソースの契約状況を表示

ERDBがもたらすこと

- CiNii Booksを通じた他大学所蔵の冊子体の所在の把握に加えて、電子リソースの所在の把握が簡単に行えるようになり、利用者の学術情報を入手する場が広がる
- Walk-in User（外部からの図書館利用者）でも利用できる電子リソースの所在が明らかになることで、図書館間での利用者の相互利用が促進される

本学のように通信教育課程を有する大学などには、とくにメリットがあるのでは？

運用上（特に）重要なこと

- 海外のナレッジベースベンダーでは不可能な日本国内の電子リソース（オープンジャーナルやブック）の提供状況の包括的な把握とデータ作成及び更新
- 多くの図書館がワークフローとして、無理なくナレッジベースへの登録が行えるような環境の構築支援（持続可能なナレッジベース運用体制の成立）
- 図書館関連のシステムベンダーとの協調
- JUSTICEとの密な連携（参加出版社とのデータ提供交渉等）

ご清聴ありがとうございました